

## <4時から夢塾> 「お便りで皆さんとつながる」

第16回「4時から夢塾」は、1月20日（水）に、田井小学校の外山孝先生から「お便りで皆さんとつながる」をテーマに『校長メッセージ』を頂いた。話の内容は勿論だが「プレゼンはこうする」を学ぶ機会になった。

○オープニングで「皆さんの得意なこと・技は何ですか？」

・外山先生の出会った教職員は、・授業・部活動指導・絵画や作文指導、児童理解、文書管理やパソコン、物を直す等、その達人がいた。その中で私の得意な技は「お便りを書くこと」だった。

○新採用校での学級便りは「カルチャー新聞」・授業の様子、子どもの頑張りやノート等を載せた。

・4校目のF小では、便りを配付する時、読み聞かせて学級指導につなげた。また、便りに子どもたちを紹介した。当時の教え子で、現M中のK教諭の話「『認められているなあ』と嬉しかった。」

○担当分掌で様々な便りを出した。・体育部便り・特設部便り・研究推進便り・教務主任便り・

・部活動便り・子どもの頑張り、担当者メッセージ → 部活動で子どもたちと一緒に成長したい。

・研究主任便り・「研推インフォメーション」「ATOMUP」・同僚の頑張り、研究の方向、授業研の価値づけ、日々の授業、新しい教育の動向、校長・教頭の考えを伝えた。

・教務主任便り・「コナンの虫眼鏡」・同僚の頑張り・取組、今後の教育活動の見通し、教育活動の目的、日々の教育活動の発見、新しい教育の動向、校長・教頭の考えを伝えた。

○管理職 → 教頭便り・「兼続」「龍馬伝」「ドラえもん」、校長便り・「トナンの大きな虫眼鏡」

・自慢の職員の頑張りや校内の皆さんに伝えたい・

・地域・保護者の皆さんの応援を校内の皆さんに伝えたい・

・学校経営の心柱を校内の皆さんに伝えたい・

○歌詞を載せた便り「心温まるもの」「季節感のあるもの」

→桑田佳祐(SAS)、さだまさし、小田和正・

○毎年、繰り返し載せた話・武田鉄矢の「あなたは教師？先生？」「ゴールはみんな同じ」

○「形に残る思い出」をありがとう・読んで頂いた方々からの感謝の言葉や手紙→お便りを書く。

・嬉しくて、嬉しくて言葉に出来ないから・。・十のうち九つは辛いことでも、一つでも嬉しいことがあるともう少し頑張ろうかなって・。子どもたちと皆さんに感謝する心を持ち続けていたい・。

○エンディングは、BGMに小田和正「今日もどこか」が流れ、1983年4月新採用S小の担任学級集合写真→2021年1月田井小の全校集合写真の中「いつの間にか38年、楽しかったなあ」で終了。

◇外山先生のプレゼンから学ぶもの・1. パワポのプリント資料の他、実際の便りを資料編で提示。2. 子どもたち、同僚職員が映像で登場し、当時の外山先生の様子を語った。3. 便りに使った歌詞がBGMで流れ、文字と音楽で伝えた。4. 10分前に余韻を残し終了し、残り時間を質問にした。



**参加者の声** ・自分がお便りにかける思いは、勿論重要だけれど、読み手が、便りをどう受け取ってくれるかが大事だなと考えさせられた。

・お便りは、誰に何を伝えたいかが、その時の立場で明確にされていて、とても参考になった。

・何か一つ強みを持つことが大切だと思った。自分にとっての強みは何だろうと考えさせられた。

・外山先生のお話を聞いて、安らぎと元気をいただいた。明日から何か頑張れそう・。

・子どもと過ごす時間を「もっと楽しいんでいきたいなあ」と、前向きな気持ちになるお話だった。